

主導より「政官連携」を

太田昭宏氏 × 姜尚中氏



研究者の青山秀夫教授で、先輩から「相撲部員なら先生の本を読み」と言わされました。姜氏 それで読み始めたんですか。

太田氏 もう一つは時代。入学した1964年当時、左派の学生運動が激しかった。私は創価学会員で、活動をしていると、「宗教じゃ社会は変わらない」と言われ、よく論争になりました。信仰上で言う「人間革命」と、社会革命は断絶しているのか、を学ぼうとした。青山先生の「マックス・ウェーバー」、大塚久雄先生の「社会科学の方法」、内田義彦先生の「社会認識の歩み」などは必須のものでした。

姜氏 それは私も読みました。太田氏 マルクスが説く、経済などの下部構造が上部構造を決定するということが実感できなかつた。ウェーバーは「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」で、神を意識した命のマグマと、もうべきエーツス（社会心理学）が資本主義の精神になつたことを指摘していますが、その命の変革なくして社会変革はないとも思えるに至りました。

姜氏 ほぼ、このインタビューエのエッセンスを書いていたみたいを感じます。政治に目

マックス・ウェーバーの「職業としての政治」をテーマに政治学者の姜尚中さんが対談するシリーズ、今回の相手は公明党前代表で国土交通相も務めた太田昭宏さん。（対談はリモートで実施しました）

太田氏 二者択一論に違和感／民から選ばれた重責 姜氏



没後100年 ウェーバーの言葉

「政治家が奉仕する目標は、ナショナルなこともあれば人類的なこともあります。社会的で倫理的なこともあれば、文化的なこともあります。現世的もしくは宗教的なこともあります。…いずれにせよ、そこにはなんらかの信仰がなければならない」（岩波文庫「職業としての政治」より）

「この『吝嗇の哲学』に接してその頭著な特徴だと感じるのは、信のできる立派な人という理想、とりわけ、自分の資本を増加させることを自己目的と考えるのが各人の義務だというような思想だ。…そこには一つのエートス（Ethos）が表明されている」（岩波文庫「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」より）

（岩波文庫「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」より）

おおた。あきひろ 1945年愛知県生まれ。公明新聞の記者を経て93年の衆院選で初当選、当選8回。同党幹事長代行、国対委員長、代表、国土交通相などを歴任、現在は党全国議員団会議議長。

太田氏 落選を経験している。選舉で敗戦国ドイツでセンター、時間軸がなく、動体視力も失った前例踏襲主義の官僚が腹立しかつたのかもしれません。政治家は背後に選んだ有権者がいる。民から選ばれた代表という自覚は重い。

太田氏 私は党代表の時、

太田氏 徹底したリアリズム／迎合と異なる人民主義 姜氏

姜氏 「職業としての政治」はどう読みましたか。

太田氏 ウェーバーが講演した1919年1月は、ロシア革命の直後、第一次世界大戦でドイツが敗北し、パリ講和会議の最中。そんな中で象牙の塔の中に閉じこもらず、現実社会と格闘し、血盛んにプロとしての政治はこうあるべきだと論じている。ナショナリストとしての面が出ており、新鮮で面白かったです。

姜氏 血湧き肉躍る？

太田氏 誰しも、その時代の中では生きられません。ウェーバーが言うように、政治家は現実には権力を追求す

を果たせということかな。ウェーバーが生きた、揺れ動いていたドイツの時代から見て、それが面白腹背ではなく、プロの官僚として役割

も、誠実かつ正確にやれといふニユアンスのことと言っています。それは面白腹背ではなく、官僚は間違っている命令で

だけじゃ駄目、結果を出すのが政治だと思つ。2年前に亡くなった保守派の論客、西部邁先生はボビュリズムとピュラリズムを分けていました。

姜氏 本来、悪い意味ではない人民主義と人気取りは別といふことですね。

太田氏 そうですね。仕事ができない人はほど人気取りに走ります。政治は結果ということをよくよく胸にたたき込んでおかないといけません。

太田氏 魅力を感じるのは攻める側ではなく受け手側。明治維新だと大久保利通より、士族の不平不満を受け入れた西郷隆盛、西郷より幕臣の勝海舟や譜代大名の松平春嶽。相撲で言えば徳儀に追い込まれてもなおかかるかとをかけて押し返すと頑張る感じですか。

姜氏 現実に向向き合つことに魅力を感じるんですね。

太田氏 哲學者のヘーゲルは「法の哲学」の中で、「ミネルバのフクロウは迫り来る黄昏に飛び立つ」と言っています。哲學は過ぎ去った時代の精神を概念として明示するが、政治は徹底したリアリズムであるべきだと思います。

姜氏 イデオロギーあります。太田氏 生の現実から目をそらさず、前に進む。ウェーバーもきっとそうだったと思います。

姜氏 生の現実を前に判断されます。いくつかある選択肢から一つを選ばなければなりません。そこでは論理だけではなく、エートスも関わる。

姜氏 悪い人とは言えない人が選ばれてしまつて。最近、この議論がなくなつたのはそのためでしょう。

姜氏 悪い人とは言えない人が選ばれてしまつて。最近、この議論がなくなつたのはそのためでしょう。

姜氏 政治家はいつでも共通の倫理や道德。それは特定の宗教だけのものではない。災害やコロナ禍が続く現在、人間の命や哲学を語ることが二つある。星座の輝く空とわが内なる道徳律である」と言っています。欲望の資本主義、欲望の民主主義を制御するのが倫理や道德。それは

在に思いをはせる。カントは「不老不死」を望みますが、「生老病死」を観る人間学、哲學が大事だと感じます。特にコロナ禍では。

太田氏 宇宙や普遍的な存在が、政治の責任。大塚先生はウェーバーに触れつつ、理念と利害状況の中で政治は展開されると言つた。妥協も強いられ、最終責任も取らざれる。ストーカンを言つてゐる。だけじゃ駄目、結果を出すのが政治だと思つ。2年前に亡くなられた保守派の論客、西部邁先生はボビュリズムとピュラリズムを分けていました。

姜氏 それは政治にも共通していますね。

太田氏 宇宙や普遍的な存在が、政治の責任。大塚先生はウェーバーに触れつつ、理念と利害状況の中で政治は展開されると言つた。妥協も強いられ、最終責任も取らざれる。ストーカンを言つてゐる。だけじゃ駄目、結果を出すのが政治だと思つ。2年前に亡くなられた保守派の論客、西部邁先生はボビュリズムとピュラリズムを分けていました。

姜氏 在に思いをはせる。カントは「不老不死」を望みますが、「生老病死」を観る人間学、哲學が大事だと感じます。特にコロナ禍では。

太田氏 政治はいつでも共通の倫理や道德。それは特定の宗教だけのものではない。災害やコロナ禍が続く現在、人間の命や哲学を語ることが二つある。星座の輝く空とわが内なる道徳律である」と言っています。欲望の資本主義、欲望の民主主義を制御するのが倫理や道德。それは

姜氏 政治は今、白か黒か、二択一しておらず、グラデーションがなくなつて。政治家は可能な限り成熟してほしいと思います。

太田氏 次回は10月下旬の予定です。